

第46号

2024年1月吉日発行

埼玉県看護連盟

連盟だより・さいたま

SAITAMA



能登半島地震により、被災された皆様に、
心よりお見舞い申し上げます

支部活動 特集



看護の心を、
みんなの心に

<https://www.kango-saitama.jp/>



会員数…………… 3,399人

保健師 …… 67人	助産師 …… 129人
看護師 …… 3,179人	准看護師 …… 24人

(2023年12月31日現在)



Contents

ごあいさつ ……………	2
ごあいさつ／衆議院議員 あべ 俊子 たかがい 恵美子 参議院議員 石田 まさひろ 友納 りお ……	3
支部活動報告／青年部の活動 ……………	4～7
研修報告 ……………	8～9
連盟からのお知らせ ……………	10

ごあいさつ

埼玉県看護連盟 会長 おおた 多田 則子

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

日頃より連盟事業にご協力をいただいております会員の皆様には心より感謝申し上げます。

昨年末にはとても嬉しいニュースが飛び込んでまいりました。看護職議員のあべ俊子議員が文部科学副大臣に就任するというとてもおめでたい朗報があります。

看護師の賃金は全産業平均より上とはいっても夜勤手当を含んでのことであり、かつ30歳代以降では一般産業を下回り、年齢を追うごとにその格差は広がっていくのが現状で人材流出が懸念されます。看護職員処遇改善評価料は看護職全体の3分の2が対象になっていないことから、看護連盟と看護協会が連携して埼玉選出の衆・参国會議員に要望書を提出し、賃金アップに結び付くような診療報酬改定にご協力いただきました。

看護に追い風が!!2024年辰年はさらに看護が評価されますことを願い皆さんのお力をお借りしながらひとつずつ可視化し、一般市民を含む多くの方にサポートをいただき、未来に無くてはならない役割であることを味方に看護職が一致団結をして一步前進することが重要な年となります。

そのためには各個人がしっかりした考えを持ちイデオロギーに左右されることがなく、正確に情報を伝え共有することで価値を高めることが重要です。

良い一年となるよう力を合わせていきましょう。



埼玉県看護協会 会長 澤登 智子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

令和5年度埼玉県看護協会通常総会において会長に選任いただき半年が経過いたしました。日頃より、会員の皆様はじめ役職員に支援いただきながら協会運営に努めております。また埼玉県看護連盟の活動では多田会長からご指導いただき、看護協会役員と協力して取り組んでいるところです。

令和6年は、6月に診療報酬改定が予定されています。6年に1度の医療、介護、障害福祉サービスのトリプル改定となります。翌年の令和7年が「地域医療構想」の最終年であることを踏まえた内容になるものと予測されます。また、令和6年4月からは「医師の時間外労働の上限規制」に伴い医師並びに医療従事者の働き方改革の推進、さらには医療DXの推進と、看護を取り巻く環境はますます変化していくことと思われます。

埼玉県看護協会と埼玉県看護連盟は、診療報酬改定に関する研修会をそれぞれで今年度末に開催する予定です。看護がさらなる役割発揮に取組めるよう共に学んで参りましょう。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員 あべ 俊子

「看護を守る」

新年あけましておめでとうございます。本年も、地元岡山から元気に活動を開始いたしました。

去年はウクライナ侵略に加え、パレスチナ・ガザ地区の情勢変化もあり、安全保障問題が浮き彫りとなった一年でした。日本の国益に加えて、世界全体の国際益を考えることが日本の品格と考えています。毎年、国会閉会後には海外視察を実施しております。去年はコロンビアの避難民シェルター、アフリカの国々を訪問し、福祉から経済まで幅広く視察することができました。IT化が進み世界との距離も近くなりましたが、国内外問わず、オンラインだけでは得られない情報があります。これからも可能なかぎり、現地・現場を訪問させていただき、本当に必要とされる政策立案を目指して参ります。

新年の清々しい空気は、いつも初心を思い起こさせます。「看護の現場を守る。看護職を守る。そのために制度を変える」。この初心を忘れずに、今年も活動してまいります。



衆議院議員 たかがい 恵美子

新年明けましておめでとうございます。穏やかな初春に埼玉県看護連盟の皆様のご健勝を慶賀申し上げます。国内外の情勢変化激しい折、一貫して国民福祉の向上にご尽力賜り誠にありがとうございます。

尊厳を重視した包摂性の高い成熟社会を形成していく上では、看護政策をはじめ社会保障制度のさらなる充実強化が不可欠です。各々が幸せを実感できる人生100年時代となるよう、皆様とともに専門職の知見を活かして、変化に対応する公共政策を着実に実現してまいります。

先の臨時国会において、衆議院東日本大震災復興特別委員会の委員長に選任され、党政調では前年に続き、性的マイノリティ特命委員会の委員長を務める他、女性の生涯の健康に関するPTで座長を預らせていただいております。いずれも時機を失することなく解決策を講じるべく、現場優先に広く意見を聴取して、粘り強く議論を展開しております。

各地でご活躍の皆様の笑顔が守られ、ご家族共につがなく過ごされますことを願い、新年のご挨拶いたします。



参議院議員 石田 まさひろ

埼玉県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

「看護婦等の確保を推進するための措置に関する基本的な指針」が31年振りに改定されました。これは、日本看護連盟・日本看護協会から指針改定の要望が看護問題小委員会に提出され、政府へ改定を要請した賜物です。看護師の確保推進という指針の目的を果たすため、時代に即した指針への改定が実現しました。

国会においては、予算委員会理事（次席）、厚生労働委員会委員、参議院自民党国会対策委員会副委員長を拝命いたしました。特に、予算委員会は社会の注目を集める難しい委員会ですが、役目をしっかりと果たしていけるよう尽力いたします。また、国会対策委員会副委員長として円滑な国会運営に向けて走り回ると共に、厚生労働政策を押し進めていきます。

引き続き、現場の声をしっかり受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動して参ります。



参議院議員 友納 りお

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまに国政の場へ送り出していただいてから約1年半が経過しました。昨年の国会では、参議院の委員会では、看護職の処遇改善、来るべき有事に備える内閣感染症危機管理統括庁への看護職の積極的な登用、訪問看護への支援等を訴えました。年始に始まった通常国会においては、看護職の定義を明確にする介護保険法等の改正もなされ、看護師出身の弁護士として看護職に関する法律を整備する自身の役割を再確認したところです。

看護職の処遇改善については、昨年の当選後、寝たきりだった医療職俸給表の改定がなされ、選挙で訴えていたことが1つ実現しました。これから年末にかけては、来年の診療報酬等のトリプル改定に向けて、議論が加速していきます。この改定が皆さまの給与アップに繋がるようにしっかりと取り組んでまいります。

看護の現場の声を国政に！本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。



第1支部

支部長 松本 千恵子

支部活動

第1支部は、比企郡（小川町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町）入間郡（毛呂山町、越生町）東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市の9町3市で構成されています。

今年度の活動ですが、11月25日に『未来のための賢いお金の使い方』というテーマで研修会を行うことができました。12月5日には坂戸・鶴ヶ島地区の施設訪問を行う予定です。

2023年度 第1支部 役員一同

第1支部役員は、5名で1～2か月に一度集まって活発に意見交換しながら、事業計画や検討事項など和気あいあいと会議を行っています。



研修会

2023年11月25日（土）、11月とは思えない暖かい日の午後、ウィズもろやま 毛呂山町福祉会館にて、第1支部の研修会を実施しました。初めに、戸口青年部代表が看護連盟についてお話しし、次いで、ファイナンシャルプランナーの渡邊昌宏氏より、『未来のための賢いお金の使い方』というテーマで講演をしていただきました。参加者は、35名でお金のこと、人生設計のことなどいろいろな話を聞くことができました。参加した方々からも、役に立ったとの評価をいただきました。



第2支部

支部長 荒井 清美

初施設訪問・情報交換会ができました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類となり活動の範囲が広がりました。コロナ禍に支部長となり、今年初めて施設訪問をさせていただきました。初めての施設訪問の日は、台風が接近した大雨のなかでしたが、訪問した病院で温かく迎えていただきました。ここ数年のそれぞれの病院の状況や、困っている事などをお聞きすることができ、改めて看護連盟の活動の必要性を感じることができました。そして、直接会い、話を聞き交流することの大切さを感じた施設訪問となりました。この数年奮闘した多くの看護師は、改めて頑張ったと感じた訪問となりました。また、石田まさひろ議員との情報交換会を開催することができました。施設訪問で伺ったご意見や、会場に集まった方々からのご意見を直接聞いていた

だき、有意義な時間となりました。

今後は、更に他施設との連携を強化し交流していきたいと思います。



第3支部

支部長 安良岡 幸子

活動報告

第3支部の役員は、さいたま市内の病院で働いている6名です。支部会は1回/2ヶ月の頻度で岩槻の施設に集っています。支部会では、合同役員会の報告や本部からの依頼事項について、話し合っています。また、役員会は情報交換の場でもあります。今年度の施設訪問では、病院と病院の繋がりもでき、患者の転院交渉もスムーズになりました。

連盟役員役で重要なことは、現場の声を国会議員や市議会議員に届けることだと思います。今年度、石田参議院議員と稲川智美市議会議員との交流会を実施しました。石田議員からは、看護職員のみならず、看護補助員に関する処遇改善についてのお話を聞くことができました。稲川市議には、子育てしながら働く看護職員の声

を届けることができました。

政治に興味がないと言われている若者たちの「看護の未来のため」、現場の声を議員に届ける活動を続けていきます。



第4支部

支部長 上田 幹子

「めざすは会員爆増!!」

埼玉県東部地区にあり、最大級の会員数を誇る支部です。しかし“会員増”は埼玉県全域あげての課題であり、第4支部にとっても同様です。第4支部は1施設への会員数の偏りが大きく、今後の“会員増”に向けては、より多くの施設に会員になっていただくことが肝要と考えております。

コロナ禍ではご挨拶まわりもできず忸怩たる思いでしたが、このたび3年ぶりに施設訪問を再開いたしました。施設訪問は、訪問先施設に受け入れていただいたからこそ実現するものでございます。春日部嬉泉病院様、春日部市立医療センター様、草加市立病院様、越谷市立病院様、越谷誠和病院様、八潮中央病院様、八潮回生病院様、吉川中央総合病院様、三郷中央総合病院様、誠にありが

うございました。会員爆増間違いなし！

また、この他10月21日には支部主催リーダー研修と、リフレッシュ研修を同時開催いたしました。リーダー研修には衆議院議員黄川田仁志氏に、リフレッシュ研修には越谷市議会議員横井きよみ氏にご参加いただきました。

第4支部の支部活動は、フットワークも軽やかにピカイチのチームワークで実施中！



第5支部

支部長 佐藤 孝洋

参議院議員の友納りおさんが支部内の病院を訪問し意見交換会を行いました！



川口工業総合病院では看護部長さんとともに各病棟をまわり、コロナ病棟の現状を見ていただきました。その

後、主任さんたちに集まっていただき現場の声を直接お伝えしました。

次に移動した益子病院でも看護部長さんとともに各病棟をまわり、看護管理者やスタッフ、地方議員も交えて意見交換会を行いました。



第6支部

幹事長 井桁 良美

今年度は『ACPの理解』について3回シリーズで研修を企画し、今年も地域の施設にZOOM配信し、ハイブリット形式で開催しました。この何年かは、コロナの影響で対面での研修会を開催することが困難でした。そのため開催場所に集まらなくても同じ内容の研修を受講することができ、集合する時間や感染のリスクを考慮した新しい形の研修がすっかり定着しました。しかし今年は研修3回目に『もし話ゲーム』という対面での研修を行いました。これは人生の最後を迎える時、何を大切にしたいか取捨選択をしていくというゲームです。自分にとって何が大切で、何を捨てなければいけないか究極の選択を迫られます。ゲームとわかっているにもかかわらず自己の価値観を見つめ、自身と向き合うことができる内容でした。皆さんもぜひ機会があったらやってみてください。自身

の死生観を見つめなおすいい機会になりますから。

第6支部では青年部と一緒に支部会議を定期的に行い、今後の活動について話し合いを行っています。次は看護を取り巻く生の声を届けるために、地域の県会議員との意見交換会をぜひ実現させていきたいと考えています。



研修の様子



第7支部

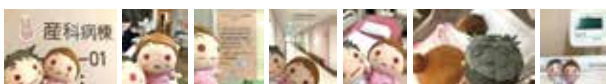
支部長 青木 かおり

支部自慢

#カンタとレンコちゃんの職場見学

(上尾中央総合病院 産科病棟)

今回、上尾中央総合病院の産科病棟の見学に来ました。助産師さんがお仕事でして。この病院にはアドバンス助産師さんが9人いて、アドバンス助産師をめざす研修に力をいれてくれているんだって。すごいね。廊下の先には分娩室があったよ。ここには毎日頑張るママさんと助産師さんがいるんだね。赤ちゃんもいた♡。僕たちの体重も計ってもらったよ。安心して子育てができる世界と安心して仕事できる未来がほしいね。そのために



と看護の現場の声を伝えていこうね。さあ、次はどこに行こうか…。つづく？

研修会お知らせ 2024年2月6日予定

第7支部では脳内メカニズムの解明に挑んでいる国立研究開発法人理化学研究所 村山正宜氏を招いて、楽しく脳科学を学ぶ研修を企画しています。

クイズに答えてクオカード 連続3回ゲットです!!!

なんとまたまた、会員の方から当選連絡をいただきました!!!看護連盟では会員の方に喜んでいただける企画をいろいろ考えています。楽しく看護ができるような夢を聞かせてください。

第8支部

支部長 辻村 文子

支部活動報告

①支部研修

11月11日 県議会議員の岡田しずか議員（副議長）を講師に迎え、開催することが出来ました。参加者は21人で、うち非会員は4人（1名は所沢市議）でした。埼玉県の高齢化比率・医療費の推移や、保健医療部の予算の推移・医師・看護師の人口比率は最下位だが増加率は1位などの情報を得ることが出来ました。質疑応答では、現場の問題等を直接お話する機会でき、会場か



らも質問や意見等が多く出て、有意義な時間を持つことが出来ました。アンケートには、現場の状況や、議員を身近に感じまたお話する機会を希望しているなどの記載もありました。

②施設訪問 2回（8月・10月）

未加入施設11施設訪問

その後4名の加入がありました。ありがとうございました。



第9支部

支部長 関 由美子

埼玉県中南部に位置している日高市、南西部に位置する飯能市になります。



500万本の曼珠沙華群生地 巾着田



2023年度 新採用者オリエンテーション



2023年度 第9支部役員

新型コロナウイルスの位置づけはこれまで2類相当としていましたが、2023年5月8日から5類感染症になりました。制限も徐々に緩和されたことで、今年度の活動計画として、施設訪問をいたしました。施設訪問は、7施設を訪問することができました。訪問するにあたり快く受け入れていただき感謝申し上げます。

今年度は、役員の入れ替えもあり直接ご挨拶できたこと、施設様からのご意見などをお伺いすることに貴重な時間を設けていただきました。今後も、現場からの意見を吸い上げ、意見として看護連盟に繋げていく役割を担ってまいります。

会員の皆様にとって実りある研修を企画していきたいと思っています。宜しくお願い致します。

第10支部

支部長 清水 京子

全国的に寒さが身にしみる季節になりました、秩父盆地にも冬は急ぎ足でやって来ました。ミューズパークからの雲海も冷たい空気の中で際立つようになりました。

今年度の計画も7月7日に秩父市立病院、秩父看護師会共催にて、秩父宮記念市民会館ケヤキホールにて行いました。秩父市立病院小児科医長であり、感染制御ドクターとしてご活躍中の黒澤大樹先生にご講演をいただきました。「感染対策のこれまでとこれから」～COVID-19対策の3年間を経験して～という内容にて開催しました。

当日は秩父郡市内の病院、介護施設、訪問看護ステーションなどから70名の方々にお集まりいただき、黒澤大樹先生の分かり易いご講演に集まって下さった方々からは、これまでの感染対策のふり返りが出来、改めて感

染対策の大切さ手指衛生重要さを理解し今後も持続していきたい。などの感想を沢山頂きました。



秩父市立病院
小児科医長
黒澤大樹先生



第10支部メンバー



秩父看護師会と支部役員会議



第11支部

支部長 竹中 証

行田市・羽生市・加須市・鴻巣市・久喜市・幸手市・北本市・桶川市・白岡市・蓮田市・杉戸町・宮代町・伊奈町からなる、10市3町の広い支部です。支部内には、行田八幡神社や加須のイチヨウ並木、伊奈のバラ園、吹上のコスモス畑など自然豊かな地域でもあります。

範囲の広い支部ですので、その地域や病院の把握が難しいところもあります。支部活動や研修会を通して、地域の看護師の皆様と交流し、連盟活動をたくさんの方々に知っていただきたいと考えています。

「ベッドサイドから政治を変える！」をもとに、現場の声を国政に届けるために活動が続けていきたいと考えています。支部の地域は広く、役員の実験年数も浅い11支部ですが、そこが強みだと信じ、引き続き地域

で働く看護師の方達に連盟活動のご理解、ご協力を賜りたいと考えています。SNSを通じて、連盟活動に関心の薄い若い世代に、連盟活動の意味を伝え支部の活性化を図っていかうと考えています。また看護職同士の交流に留まらず、地域で活躍する様々な職種の方々と、繋がる機会を設けていきたいと考えています。今後とも宜しくお願い致します。



OB支部

黒澤 美佐子

研修報告書

看護連盟OB支部主催の研修会「夢をかなえるナース」が11月20日(月)に開催されました。講師には、株式会社ハレ代表取締役 前田 和也氏をお迎えしました。看護師である前田氏は、集中治療室や訪問看護の現場での経験などから、「患者さんの夢をかなえるナースになりたい」という想いで、会社を立ち上げられました。

前田氏の講演の中で特に印象的だったことは、患者さんの中でも終末期の患者さんからの依頼が多く、そのような患者さんの希望や夢を実現するためには、患者さんのご家族の力がかかせないということでした。

最後に、実際に講演会の中での質疑応答を抜粋してご紹介します。

○準備段階でのスタッフは何名必要でしょうか…。

スタッフは10名程度必要ですが、何よりもまず、ご家族の気持ちが前向きであることが大切です。

○訪問看護ではまかなえないことを実現されているのでしょうか…。

まずは周知してもらうことと連携が大切です。特に医師の協力チームによる連携が必要です。トラベルドクターという方法もあります。(以上抜粋)

末筆になりますが、当日は42名のご参加を頂きました。みなさまご足労頂きまして、ありがとうございました。



青年部の活動

埼玉県看護連盟青年部 代表 戸口 圭

12月2日、北浦和の埼玉地域看護研修センターにて「心理的安全性の高い職場の作り方」をテーマとして第13回ポリナビワークショップinさいたまを開催しました。

講師に参議院議員の友納りお氏をお招きし、「職場環境におけるハラスメント」について講義をいただき、その後のグループワークでは若手の考えるハラスメントと、ベテランの考える後輩指導への思いを踏まえて活発な意見交換を行いました。

研修を通して、ハラスメントは私自身が考えていた以上に身近に潜んでいるものなのだという事を痛感しました。またグループワークでは、若手とベテランの考えの意見交換を行うことで、参加者がより良い職場環境を考えるきっかけとなったのではないかと考えております。

今後も、皆様の興味関心の高いテーマでの研修企画や、若者の政治参加に向けて何ができるかを考えて活動していきますので、よろしくお願い致します。



「処遇改善がもたらす看護師の未来」 共催研修

埼玉県看護連盟監事 中村美智子

2023年9月12日（火）参議院議員の石田まさひろ氏の「処遇改善がもたらす看護師の未来」の講演に参加しました。直前まで滞在したシンガポールは「物価も高いが、給料も高い」ということから、日本の看護の現状につなげ「人手を確保するだけでは看護師は満足せず、給料のアップをしなければやりがいを持てない」ということでした。

石田氏は、自由民主党の看護問題小委員会のメンバーとして「看護は国民の健康を守る重要な仕事ですが、辛く、厳しいものであるからこそ継続できるようにしなければならない」と発言してくれています。

また、日本の看護の未来に目を向けた時、今と人数が変わらなくても「看護の質」は保たなければならない。そのためには、卒後教育を重視し研修に行きやすい病院にすること、事例検討を丁寧に行うこと、AIを活用すること、急性期から慢性期、訪問看護などマルチに活動できる看護師の育成をすることなど、発想の転換が必要であると述べ、最後に「処遇の改善は、看護の質の向上につながる」とメッセージを下されました。

石田氏のパワーと説得力のあるお話を聴き、看護職として処遇改善の意味を理解し、行動変容につなげる必要があると理解できました。

リーダー研修1 報告

埼玉県看護連盟副会長 真々田 美穂

日本看護連盟会長 高原 静子様を講師にお迎えし「看護の未来を考える～政策実現に向けて～」というテーマで研修会を開催しました。看護政策の概念、看護関連法律、立法過程などの内容をわかりやすく講義をしていただきました。中でも国会での看護関係組織（看護問題対策議員連盟、看護問題小委員会）の意義を知り理解することはリーダーとして重要な事だと認識しました。私達が課題と考える現場の声は看護関係団体を通じて要望書が提出されます。また看護関連の法律や予算は看護問題小委員会での了承を得て国会に提案されます。これらのことから地元の国会議員、県議、市議会議員と協力し合い、対話ができる関係を保つ必要性があると感じました。

力強い看護連盟組織であるために「見える活動、行動する会員、確かな組織づくり」を重点方針に挙げています。高原会長より「リーダー会員は現場の声にアンテナを張り、客観的データを基に可視化し示していくこと、動けば動くほど形になる」と力強いエールを送っていただきました。リーダーの役割を果たすため現場の声を発信し行動を起こしていきたいと思います。

● 看護振興懇話会報告

埼玉県看護連盟幹事長 瀬山澄江

10月11日（水）埼玉県議会議事堂にて看護振興懇話会が開催されました。

毎年、医療現場での様々な問題を取り上げ県議会議員の皆様へ現状を報告し、理解をいただくと同時に県民の健康を守る取り組みの機会とする主旨で開催されてきました。

今年は、現場から届いた訪問看護時の駐車禁止違反についての困りごと相談を取り上げてみました。実態把握を行うべく「利用者宅訪問時 駐車状況アンケート」を実施し、その結果を要約して多田則子会長が報告をいたしました。続いて訪問看護ステーション協会白石恵子会長より、訪問看護の現状と今後の課題について、その1、機能強化型訪問看護ステーションの増加。その2、医療的ケア児対応可能な訪問看護ステーションを増やす必要がある。その3、管理者育成の充実が必要という内容の報告がありました。

看護職能団体代表者と、埼玉県県議会議員が一堂に会し振興を深めることの貴重な機会となりました。今後も臨床現場の問題にタイムリーに取り組み看護師さんが、安心して働けるように「政治の力は頼もしい」のキャッチフレーズを広めていきたいと思っています。



自由民主党埼玉県支部連合会 女性局 県外研修に参加して

8支部 支部長 辻村文子

令和5年10月5日～6日の1泊2日で、埼玉県支部連合会女性局の復興支援研修に参加させていただきました。参加者11名で埼玉県看護連盟から、会長・副会長と3名で参加しました。

東日本大震災から12年後の気仙沼は、車窓から至るところに「津波到達」マークが見えました。この高さまで来たのかと今更ながら、恐怖を覚えました。震災遺構として残っている、4階建ての旧向陽高校では、津波が屋上まで来たことや、学校の中に飛び込んできた車が数台重なっている状況を見ました。屋上に立ち周囲を見回すと、津波の恐ろしさを新ためて実感しました。しかし油槽所から油が流れ、火の海となった気仙沼最大の被災地で、再開された食堂のご主人の生き抜く力を感じました。ここでのカジキマグロのひれの煮つけは絶品でした。

気仙沼湾入り口にある岩井崎での復興のシンボル『龍の松』は静かに海を見つめて、昇り行く力を溜めているような気がしました。復興記念公園は気仙沼を見下ろす丘の上にあり、復興祈念シンボルとなる『祈りの帆（セイル）』もまた忘れられないものとなりました。復興とは何を持って言うのか、元の地には住宅はまばらで、高台の代替地に新しい街ができています。私たちにできることは忘れないこと、地元で頑張っている人たちがいることを伝えることだと感じました。



埼玉県看護連盟 研修会「誰でもできる正しい選挙活動」

埼玉県看護連盟 監事 伊奈病院 看護部 須崎香織

2023年7月28日「誰でもできる正しい選挙活動」というテーマで研修会が開催されました。埼玉県看護連盟多田則子会長は「埼玉県看護連盟 これからの役割」、参議院議員友納りお氏は「誰でもできる正しい選挙活動～公職選挙法について正しく学ぶ～」をテーマに講演してくださいました。埼玉県看護協会研修センターにて集合型で開催され70名程の参加者が熱心に聴講している姿にZOOMだけではなく集合型研修の良さを実感致しました。

多田会長には看護連盟の在り方や今後の方針、会員個々の担う役割などをお話してくださいました。友納氏には、看護連盟活動の重要性や選挙に関する初歩的な事柄、看護師資格を有する国会議員の職務内容、看護関連の法案の流れ、選挙活動の実際の注意点など具体的な事例を用いて説明してくださいました。とても分かりやすく今後の活動にすぐに活かせるためになるお話で、参加者も熱心にメモを取っていたのがとても印象的でした。看護連盟の活動の重要性を理解し、また公職選挙法について正しい知識を持ち今後も看護の明るい未来のためにコツコツ活動していきましょう。



「国会見学」

埼玉県看護連盟幹事長 瀬山 澄江

12月7日に国会見学研修を開催いたしました。4年ぶりの催行となりましたが、多くの参加申し込みをいただきました。あたたかな日差しの中、国会周辺のきれいな紅葉が見られました。1時間をかけて参議院議場・御休所・中央広間を見学し参加者全員で記念撮影。国会開催中でしたが、昼休み時間に多くの埼玉県選出の議員からご挨拶をいただきました。その際には看護職処遇改善に関する要望書を各議員へ看護連盟会長と看護協会会長と連名でお願いすることが出来ました。



お知らせ

日時	内容	場所
2024年3月2日(土) 14時00分～16時00分	リーダー研修Ⅱ テーマ：「国政報告 ー国政の動きと診療報酬改定のポイントー」 講師：石田まさひろ参議院議員	埼玉県看護協会 研修センター



◆ 埼玉県看護連盟 通常総会 令和6年6月29日(土)

連盟会員 入会受付中

年会費	日本看護連盟会費	5,000円
	埼玉県看護連盟会費	3,000円

計 8,000円

賛助会員：会費1,000円 学生会員：無料



事務局より

「会員変更届」をお忘れなく

姓の変更・転居・施設異動など登録情報に変更があった場合は「会員変更届」の提出をお願いいたします。用紙はホームページよりダウンロードできます

編集後記

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症も5類感染症へ移行し、8か月が経過しました。まだまだ油断はできませんが、活動も徐々に再開しており、この号では支部活動をご紹介します。どうぞ今年もよろしくお願いします。(T・Y)

東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代制勤務における睡眠のコツなど
- 学校保健委員会 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- 高齢者の睡眠ケア 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけは知ってほしい生活習慣

*他、施設内研修などご相談承ります(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

睡眠セミナー講師は状況に応じて感染予防対策を実施しています。

◆セミナーに関しましては、二次発コードよりお問い合わせください。
担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyooumo.co.jp/seminar>



東洋羽毛北関東販売株式会社
〒362-0017 埼玉県上尾市二ツ宮963-3

埼玉営業所
TEL 0120-223-062